

キャリア教育で子どもたちの未来づくり

ときめき 《土木未来教室》

「土木未来(ときめき)教室」は、子どもたちが普段あまり接することのない土木・建築という職業について、仕事の内容や社会的な意味を知ってほしいということで、豊後大野土木事務所が大分県建設業協会大野支部の協力を得て、毎年実施しています。

実際の土木・建設機材に触れたり、実際の工事現場を目の当たりにしたりすることを通して、自分たちの安全安心な暮らしを維持し守っている土木建設という仕事の重要な役割を知るだけでなく、自分の将来の進路の一つとしての魅力を感じてほしいという願いから実施されています。

今年度は、清川小学校 4・5・6 年生と犬飼小学校の 5・6 年生を対象に実施しました。

清川小学校では、『どぼく』ってなあに」というテーマで、建設機械を実際に体験する中で土木工事の大切さや魅力に触れてもらいました。

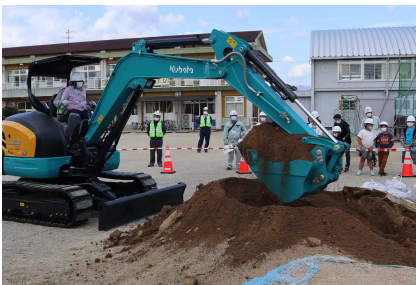
犬飼小学校 5・6 年生には、土木現場の「現地研修」ということで、「大野川発電所」大規模改良工事現場を実際に見学することで、土木工事の醍醐味を体験してもらいました。

「どぼく」ってなあに? 清川小学校 10月30日(金)

【1時間目】 土木の仕事について(土木建築工事の内容や災害と防災工事など)



【2時間目】 測量体験・土木建設工事機械の実演や体験 など

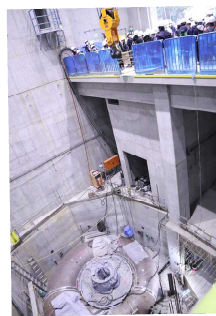


- ◇10月30日(金)に豊後大野土木事務所や建設業協会の方々に来て、土木の仕事について教えてくれました。ショベルカーに乗る体験などもできて楽しく学びました。
- ◇最初に土砂災害について話を聞いたり、模型を使ったりして学習しました。めじろんと記念写真も撮りました。次に、運動場に出て、実際に測量計を使って遠くにある的までの距離を測ったり、職員の方と一緒にショベルカーに乗って、土をすくったり、運転席を回転させたりしました。
- ◇大人になってこういう機械に乗って仕事してみたいと思いました。土砂災害は、テレビでは見たことがあったけど、あんなに早く道が復活するのは、すごいと思いました。

【1時間目】 土木建築工事・発電所改修の工事内容



【2時間目】 工事現場見学(犬飼町大寒)



◇私は、11月18日が「土木の日」ということを初めて知りました。自然のことや発電所のお話、そしてどんな仕事をされているのかを学ぶことができました。みりよく的な町づくりをしたり、道路をつくったり、工事をしたりすることを聞いて、すごいなと思いました。

◇この教室で初めて知ったことがたくさんありました。例えば、地すべりや土石流などの災害についてです。映像を見ると、広いはんいの土が木や電信柱などといっしょにそのままゆっくりと流れていました。災害のおそろしさを知ることができました。建設中の大野川発電所も見学しました。建物の中に大きなカタツムリの貝がらみたいなもの（タービン）があってビックリしました。前の建物よりとてもキレイで、オシャレになっていました。